

令和7年度 東海北陸ブロック小児がん診療病院 相談支援研修会

子どものアピアランスケア
～子どもの社会復帰を支える包括的支援を目指して～

【プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶
13:05～14:05 講義

『子どものためのアピアランス(外見)ケア』

藤間 勝子 氏 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
アピアランス支援センター センター長 公認心理師・臨床心理士

14:05～14:20 休憩
14:20～15:05 グループワーク
15:05～15:20 全体共有
15:20～15:25 アンケート
15:25～15:30 閉会挨拶

皆で一緒に話し合っ、
色々な考えやヒントを持ち帰ろう！
講師からのコメントも予定しています！



令和7年

9月27日(土)

13:00～15:30
オンライン開催

対象：本会は職種を問わず相談に携わる方ならどなたでも
参加いただけます。

参加費：無料

申し込み：下記URLまたは二次元コードより
お申し込みをお願いします

<https://forms.gle/eU1yy8kxMqF469ps7>

申込締切：8月22日(金)



お申込みをいただきましたら、後日改めて事務局よりご連絡させていただきます。
また、当日までにご登録いただいたメールアドレス宛に、研修会用URLを事前にお送りいたします。
開催時間になりましたら、通信環境の安定した場所からご参加いただけますようお願いいたします。
なお、ご参加はお一人につき一台の端末をご用意ください。

【主催】東海北陸ブロック小児がん拠点病院

名古屋大学附属病院 静岡県立こども病院 三重大学医学部附属病院

お問い合わせ先(事務局)

三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター 事務局

TEL:059-231-5768 FAX:059-231-5435

MAIL:children-tcc@med.mie-u.ac.jp

【事例】

Aさん（10歳）女児、小学4年生

急性リンパ性白血病と診断され、小児科に入院

家族構成：両親、弟（7歳）との5人暮らし、近隣に母方祖父母在住

<場面1>

入院直後、母が相談室に来室。

「治療をすると髪の毛が抜けると聞きました。ウィッグを作りたいのですが、どこで作ったら良いですか？」

<場面2>

退院前、母が相談室に来室。

『最近脱毛を特に気にする様子もなく帽子で過ごしていました。それが退院の見通しがたってきて復学の話が出た途端、「髪が生えるまで学校には行かない!」と言い出しました。ウィッグもあるのに「それじゃ嫌だ」と言って。どうしたら良いのか分かりません…。早く毛を生やす方法はありませんか?』

日ごろの相談の中での困り事なども皆さんで共有しながら、Aさんご家族を支えるためにアイデアを出し合い、支援のヒントや方法を考えていければと思います。

例えば…

- ・このようなケースを担当したことがありますか？
- ・このケースではどんなことに困りそうですか？
- ・最初はどんな声掛けをしましょうか？
- ・お母さんから何を聞きたいですか？
- ・あなたならこのお母さんにどのような対応や情報提供をしますか？
- ・お子さんご本人と会うなら、どんな話をしますか？
- ・誰がこのケースでのあなたの困りごとを助けてくれそうですか？
(どのような部署や職種の人と協働しますか?)
- ・どんな知識や情報、アイテムがあったら支援がしやすいですか？

模擬ケースですから、正解はありません。様々な意見を一緒に考えて、明日から役立つノウハウをお土産に持って帰れるようにしましょう！